

歴史から学ぶビジネスセンス講座

インタラクティブ・コミュニケーション・スキル実践講座



Think!

令和3年10月12日
一般社団法人四十万未来研究所
代表理事 四十万靖

歴史を学ぶ意義

「歴史とは」…ストーリー（物語）である

その時に何があったのか？・・・×

（例：鎌倉幕府は何ににできたか？）

→事実をただの“点”としてしかとらえておらず、時代背景や理由など、何もわからない

そのことはどのようなストーリーがあったのか？・・・○

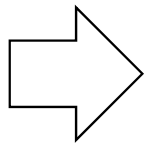
（例：鎌倉幕府はなぜ鎌倉にできたのか？）

→事実を資料などから読み解き、その時代背景を考察しながら、その物語を類推する

自らのアイデンティティに基づき、未来を考える“訓練”のためにある。

歴史から学ぶビジネスセンス

- 歴史はストーリーである



- 前後の事実を確認する・・・ファクトベース
- 事実を踏まえて類推する…仮説設定、ロジカルシンキング、コミュニケーション

歴史を学び、事実を集めたり、類推をするということは、現在のビジネスパーソンの必須のスキル の強化にもつながる。

- ・**事実やデータ**をそろえて分析する（ファクト・ベース）
- ・自分なりの**考察・仮説を設定**して検証する（ロジカルシンキング）

歴史を楽しく学びながら、先端のビジネス・スキルや思考法を鍛えることができます。

研修の概要と特徴

- ビジネスがグローバルになる中で、歴史を今一度学びなおし、**自国や自身のアイデンティティを身に付ける**必要性が注目されています。また、日本や世界の歴史の流れをしり、ビジネスを考える機会も多いのではないのでしょうか？
- また一方では、働き方が多様化する中で、**テレワークなども増え、お子様などと一緒に話す**機会も増えているビジネスパーソンも増えています。
- ビジネスの場面ではテクノロジー（IT,DX等）の進展により、**データをどのように集め、読み解くか、またそこから何を類推して考えるか？**の重要性も増しています。
- 歴史をただの教養や記憶、記録にとどめるのではなく、その背景やストーリーを知り、また類推することで、現代ビジネスに必要なデータの収集・読み方、論理構築についてを学ぶ講座を新しく開発しました。お子様に歴史について教えたり、一緒に語る機会を持つ**ビジネスパーソンの方の教養**となりながら、同時にビジネスパーソンの必須スキルである**分析力や論理思考を磨く**ことを目的としています。
- 当講座は、様々な歴史の中から、特に厳選したテーマを取り上げ、テーマから深掘り、参加者と一緒に考える、**アクティブ・ラーニング型**の研修となっております

研修の必要性和効果

• 研修の必要性

企業を取りまく**ビジネス環境のグローバルな変化**の下、日本人としてのアイデンティティや歴史観が期待されます。現に海外経験のある方なら誰しも、「日本はどんな国？」「日本人はどう思うの？」等、むしろ海外で時刻を意識することは多くあります。

又、お子様のいるビジネスパーソンがテレワークなどで自宅で仕事をする機会も増え、その**コミュニケーションの一つとして“歴史”を考**えることも注目され始めています。

ビジネス面としては、データや事実をどうとらえて、どのように論理思考を組み立て、仮説を作るかといった、**論理的思考**はますます重要となっております。

• 研修の効果

歴史を知ることで、日本や自身のアイデンティティや強みなどを知ることができます。グローバル時代だからこそ、**正しく自国や自分自身を知ること**がまさに大切です。

また、その観点から様々なデータや事実を見、論理的思考力を働かせることは、これまでのロジカルシンキングを機械的に学ぶのとは異なり、**論理思考の実践的かつ応用力**が身につくことができます

研修対象と所要時間

- 研修対象者

- 中堅、若手社員、女性社員、等（30代のビジネスパーソン）
- 歴史について学びたい方
- **お子さんとのコミュニケーションを上手に取りたい子育て世代の方**
- 論理的思考力とコミュニケーション力を向上したい方

- 所要時間

- 3時間 × 2回 計6時間
（一般的な目安となります。）

プログラム例（2日間）

試験対象者	例：セカンドキャリアは社会課題解決をしたいシニア層
クライアント事業者	例：ビジネスの課題意識をもつ事業型NPO
DAY-1 インタラクティブ・コミュニケーション・スキルとして歴史を知る (3時間)	DAY-2 ロジカルシンキングで歴史とビジネスを紐解く (3時間)
■学習内容： <ul style="list-style-type: none">●近現代史を中心に、来年から高校で必修化する歴史総合シラバスを参考に作成したオリジナルテキストを使用。小学校親子で実践できる、コミュニケーションの取り方を学習します。<ol style="list-style-type: none">1)それぞれの講義解説2)質疑応答3)課題解説●学んだ点を振り返る<ol style="list-style-type: none">4)個人ワーク5)課題発表※宿題として<ol style="list-style-type: none">5)お子様やご家族と、今日の学びについて共有する6)お子さんの学習態度で、気になった点の周辺事実についてメモしておく	■学習内容 <ul style="list-style-type: none">●学んだ歴史から、自身のビジネスと関係するポイントを探る<ul style="list-style-type: none">・何を選んだか？・共通点は何か？・どんな周辺事実があったか？●自身の業務を歴史的観点から論理思考する<ul style="list-style-type: none">・ロジカルシンキングについての講義・プロセスコンサルテーションについての講義・自身のアクションプランの作成
メイン講師：四十万靖（四十万未来研究所）	メイン講師：塚本恭之（ナレッジワーカーズインスティテュート 中小企業診断士）

講座の紹介例1 <福澤諭吉に学ぶ実学>



DAY-1

インタラクティブ・コミュニケーション・スキルとして歴史を知る
(3時間)

■ 学習内容：

- ・ 歴史だけが、学となっていない理由は何でしょうか？
- ・ 独立自尊を唱えた福澤諭吉の目的・目標・手段を考えましょう。次に会社の同僚やお子さんと探求学習の目的・目標・手段を、インタラクティブ・コミュニケーション・スキルアップの観点から確認してみましょう。
- ・ 福澤諭吉は演説館の空間の何が不満であったのかを会社の同僚、お子さんと一緒に考えて見ましょう。

DAY-2

ロジカルシンキングで歴史とビジネスを紐解く
(3時間)

■ 学習内容 (DAY-1の話をビジネスに生かす)

- ・ 当事例を自社に当てはめてみましょう (組織思考)
 - ・ 現在の経営に当てはめるとどのような事例があるか？
- ・ この事例より、研修参加者の今後のキャリアにはどのような学びがありますか？ (キャリア思考)
- ・ ここで気づいた事、をどのようにお子様、後輩、上司に伝えればよいでしょうか？ (コミュニケーション)

講座の紹介例2 <最新小6歴史教科書に学ぶ> PBL武田勝頼 長篠の戦い



つかむ

長篠の戦いがあったころの世の中の様子について話し合いました。

戦国大名の登場 ひろとさんたちは、屏風絵を見ながら戦いの様子について話し合いました。

織田信長や豊臣秀吉など、有名な武将がいるね。

右と左の軍で武器や戦い方がちがうよ。どちらが勝ったのかな。

東京書籍新しい社会 6 歴史編
P64～65

<p>DAY-1 インタラクティブ・コミュニケーション・スキルとして歴史を知る (3時間)</p>	<p>DAY-2 ロジカルシンキングで歴史とビジネスを紐解く (3時間)</p>
<p>■ 学習内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長篠の戦いが起きた背景を考えて見ましょう。 ・織田鉄砲隊vs武田騎馬隊の戦いを検証してみましょう。 ・長篠の戦い当時、キリスト教が日本にやって来ました。その事が長篠の戦いに与えた影響、その後、家康の江戸幕府成立に至った背景を、お子さん、会社の同僚と一緒に教科書を読みながら、調べ学習して見ましょう。 	<p>■ 学習内容 (DAY-1の話をビジネスに生かす)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事例を自社に当てはめてみましょう (組織思考) <ul style="list-style-type: none"> ・現在の経営に当てはめるとどのような事例があるか？ ・この事例より、研修参加者の今後のキャリアにはどのような学びがありますか？ (キャリア思考) ・ここで気づいた事、をどのようにお子様、後輩、上司に伝えればよいでしょうか？ (コミュニケーション)

受講費用

研修料金目安

- 40万円（2日間 計6時間）
※オンラインについては別途検討

条件及び別途費用について

研修会場及び機材は原則的にお客様負担でお願いいたします。

遠隔地での研修の場合は別途、交通費実費（必要な場合は宿泊費）。

教材費および研修カスタマイズ費については、別途でお願いいたします。

担当講師



一般社団法人四十万未来研究所

代表理事 四十万靖 (しじまやすし)



1983年3月4日生まれ

慶應義塾大学経済学部卒 伊藤忠商事株式会社に20年間勤務

<専門領域>

国際コミュニケーション論 空間とコミュニケーション 日米貿易摩擦論

ビジネスモデルライセンスング SDGs地方創生論

●実績

- 慶應義塾大学SFC研究所エコスマートライフ1stフェーズ
- 慶應義塾大学SFC研究所SFCIncubationVillage研究コンソーシアム1stフェーズ
- 慶應義塾大学SFC研究所e-ケアコンソーシアム・ヘルス・プロモーション・デザイン研究
- 家具メーカーカリモク&武蔵野美術大学建築学科長尾先生とのチュートリアル
- 女子美術大学田村先生2年生向けコミュニケーションプロダクトデザインの共同授業
- 東京大学都市工学浅見先生と大学院生向け「頭のよい子が育つまち」ワークショップ
- 東京大学浅見先生と学部学生&大学院生向け頭のよい子が育つ家・まち設計デザイン共同授業
- 空間工学理論=SSTECH日本不動産学会田中啓一賞受賞
- 小田原頭のよい子が育つまちフォーラム
- 文部科学省リカレント教育プログラムの開発と実施受託事業 (令和元年度～3年)
- 文部科学省society5.0人材教育プログラム開発と実施受託事業 (令和2年度～4年)

※平成14年10月以降現在に至る代表事例のみ。当研究所設立以前スペース・オブ・ファイブ株式会社での事例も含む。

●代表書籍 : 頭のよい子が育つ家 日経BP社・文春文庫

※韓国・台湾・中国精華大学出版社から翻訳出版済み。



担当講師

ナレッジワーカーズインスティテュート株式会社 代表取締役 塚本 恭之（つかもと やすゆき）

カシオ計算機(株)にて経営企画や事業開発等を歴任。その傍らで経営コンサルティングを行う団体の理事に就任し、スモールビジネス（中小・ベンチャー、NPO等）への経営課題解決に従事。
また、未来志向の対話の場であるフューチャーセッションのファシリテーターとしても活躍中

- ・一般社団法人企業間フューチャーセンター 代表理事
- ・株式会社フューチャーセッションズ パートナー 等

略歴

- ・1990年、大学卒業後、カシオ計算機株式会社入社。同社において24年にわたり、ロジスティクス、経営企画、事業戦略等歴任。
- ・2010年に中小・ベンチャー企業、NPO等に無償コンサルを提供するプロボネットに参画。その後、パートナー、コンサルティング部統轄約100件のプロボノ・コンサルティングのプロジェクトマネジメントを担当
- ・2014年にカシオ計算機を退職し、プロボノ手法で人材育成を行うナレッジワーカーズインスティテュート株式会社を設立。
- ・同年、企業間フューチャーセンターに参画。イベントなどのセッションファシリテーションを年間20件以上担当。2017年代表理事に就任。

メディアなど

- ・日経BP「ソーシャルリーマンズが行く」、環境新聞社「CSR進化論」コラム連載
- ・NHK ニュースウオッチ9 J-WAVE（コニカミルタcometogther）、BAY-FM（金つぶ）等に出演（プロボノ専門家としてゲスト出演）
- ・東洋経済「副業のススメ」「パラレルキャリアを始めよう」（石山恒貴著）等、雑誌紹介
- ・facebookグループ「複業 for Japan」主宰

資格等

- ・経済産業省登録 中小企業診断士、認定経営革新等支援機関、情報処理技術者（ITストラテジスト、システム監査技術者）、等
- ・中小企業大学校講師、創業支援塾講師（東大和市、東京都インキュベーションHUBプロジェクト等）



APPENDIX

アクティブ・ラーニング（実践型の学習）

2014年11月中旬、文部科学大臣の指示の中で、新しい学びの方法として、**アクティブラーニング**を取り入れた授業改善の方向性が示され、本格的に高等教育に導入され始めています。

アクティブラーニングは、**学習者が受動的である学びのスタイルから、能動的な学びに転換すること**です。当講座では、アクティブ・ラーニングの進化系である**インタラクティブ・ラーニング**による**双方向的な学び**に転換する事で最先端スキルアップを目指します。

	これまでの研修	アクティブ・ラーニング
内容	講義中心。テキストを読む、説明を聞く、理解するが主な学習。 事例やワークショップを加える	最小限の講義に加え、事例やワークショップ、更には個人・チームでの実践により学習する
効果	講師からのインプット中心 “学習揮発性”が高い	講師以外にメンバーや参加者から学ぶ。 “学習揮発性”が低い
講師	テキストを作り、一方通行で講義する (学校の先生)	事例や学習を支援するファシリテーターとしての役割